

災害対策BCPで忘れてはいけない25の対策

- 災害対策をもう一度見直そう！ -

■ 災害対策の業務継続計画書が遂に完成、でも…

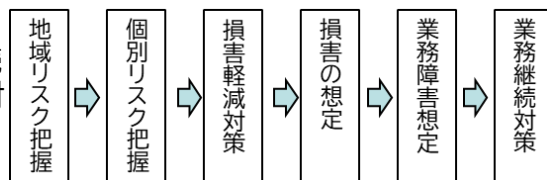
特別養護老人ホームS苑では、運営基準で災害対策BCPの策定が義務付けられたことを受けて、委員会を作り1年間検討してきました。3月にやっと計画書が完成し、4月からはよいよ訓練や研修の準備を始めなければなりません。そこで、S苑では出来上がった計画書を福祉のBCPに詳しい専門家に見てもらいましたが、「重要な対策がたくさん抜けている」と厳しい指摘を受けてしまいました。指摘の内容は次の通りでした。

1. リスク想定と損害軽減対策が不十分であり、災害対策そのものの見直しが必要
2. 職員不足と業務効率悪化という業務環境の変化に対応する業務手法が記されていない
3. 栄養管理や暑さ対策など利用者の生命に直結する業務継続対策の具体的策が記されていない
4. 震災対策が中心で水害発生時の避難確保計画など水防法への対応が不十分
さて、どのような点をどのように見直したら良いのでしょうか？

業務継続計画は徹底した損害軽減対策の上に成立する

■ 災害対策BCPを策定する手順

専門家の指摘通り、災害対策とBCPは相互に密接な関係があります。災害対策が不十分で損害が大きくなれば、業務継続の支障は大きくなり、BCPは絵にかいた餅になります。災害対策を徹底して業務継続への影響を正確に想定しなければならず、BCPだけ作成しても機能するはずがありません。



■ 専門家の指摘とは？

ここで専門家が指摘した4つの問題点を、もう少し詳しく解説しましょう。

1. リスク想定はその地方(地域)固有のリスクと施設・事業所の立地リスクから正確に把握しなければ、損害軽減対策が的外れになってしまいます。特に近年急激に増加している想定を超える雨量による豪雨災害では、地域による差が大きいですから、地域の雨量増加リスクの把握が重要になります。
2. 職員不足・停電、物資不足の3重苦から、職員一人当たりの業務負荷は10倍以上になります。業務を絞り込むだけでなく、業務方法も工夫しなければなりません。
3. 厨房業務の停止による低栄養や、酷暑期のエアコン停止による熱中症で、利用者は深刻な生命の危機に直面します。栄養補助対策と暑さ対策は業務継続対策の要です。
4. 2017年に水防法の改正によって、要配慮者利用施設のうち浸水危険区域や土砂災害危険区域に所在する施設は、避難確保計画の策定を義務付けられました。水害発生時の避難方法は何通りも作って、臨機応変に使い分けなければ利用者の命を守れません。

■ 災害対策BCPで忘れてはいけない25の対策

専門家の指摘にもあった通り、業務継続計画は徹底した損害軽減策を前提に成り立っています。損害軽減策によって業務継続の影響を減らした上で、実行ある業務継続計画が成立するのです。安全な介護では災害対策と業務継続計画をより実効あるものにするために、「災害対策BCPで忘れてはいけない25の対策チェック表」を用意しました。あなたの施設の業務継続計画で重要な見落としが無いが、チェック表で確認してみてください。



災害対策BCPで忘れてはいけない25の対策 チェック表

各チェック項目にYes・Noでお答えください。もし半分以上Noになったら、根本的に災害対策から見直した方が良いかもしれません。「災害対策BCP見直しマニュアル」を用意しておりますので、必要な方はご請求ください。

No	種類	チェック項目	回答
1	震災対策	緊急地震速報が施設のどの場所に居ても瞬時に全職員に伝わりますか？	Yes・No
2	震災対策	地震発生時の対処行動を時間別・場所別にマニュアル化していますか？	Yes・No
3	震災対策	震災発生後物資補給が途絶えた時、経管栄養剤を確保できますか？	Yes・No
4	震災対策	エレベーターが使えない時、垂直避難のために階段搬送用具を備えていますか？	Yes・No
5	震災対策	酷暑期の停電でエアコンが使えない時、熱中症対策はできていますか？	Yes・No
6	震災対策	施設の自家発電機は停電時の最低使用電力を計算した上で購入しましたか？	Yes・No
7	震災対策	震災発生後の職員不足の中で、えん下機能低下者の食事形態への対応ができますか？	Yes・No
8	震災対策	被災後3日以内に応援職員3名の派遣を受けられる仕組みがありますか？	Yes・No
9	震災対策	低栄養を防ぐためえん下機能低下者が食べられる栄養補助食品を確保していますか？	Yes・No
10	震災対策	オムツなどのケア用品の不足を防ぐための在庫調整対策を行っていますか？	Yes・No
11	震災対策	福祉避難所として在宅利用者を受け入れるための職員確保対策はできていますか？	Yes・No
12	水害対策	あなたの地域の降水量の「2000年以降の異常増加傾向の有無」を把握していますか？	Yes・No
13	水害対策	新水防法で災害危険地域の施設に義務付けられた避難計画を作成していますか？	Yes・No
14	水害対策	あなたが持っているハザードマップは「1000年一度想定」に更新されていますか？	Yes・No
15	水害対策	避難準備開始と避難行動開始の基準降水量を施設独自に決めていますか？	Yes・No
16	水害対策	避難時に持ち出す利用者のデータや書類はリスト化されていますか？	Yes・No
17	水害対策	豪雨時に周辺地域の降水量を常に正確に把握することができますか？	Yes・No
18	水害対策	浸水危険が迫った時の避難経路は最低3種類計画していますか？	Yes・No
19	水害対策	施設の敷地と周囲の土地との高低差を確認して雨水の侵入に備えていますか？	Yes・No
20	水害対策	敷地内の雨水侵入時に建物に浸水危険のある開口部をすべて把握していますか？	Yes・No
21	水害対策	建物内に浸水した時破損・汚損する重要な機器や用品への対策はできていますか？	Yes・No
22	水害対策	浸水時の垂直避難に備えて要介護度の高い利用者の居室配置を調整していますか？	Yes・No
23	水害対策	施設の隣接土地の傾斜地や巨木などを把握し地主などへ対策を依頼していますか？	Yes・No
24	水害対策	屋上や中庭の排水口にはゴミが詰まりにくいルーフトレインが付いていますか？	Yes・No
25	水害対策	傾斜地に面した土砂災害危険の顕著な居室を閉鎖するなどの対策を行っていますか？	Yes・No

「災害対策BCP見直しマニュアル」をご希望の方は下記からお申し込みください。

<https://bit.ly/3JWGjGs>

